

新むつ小川原株式会社 第4回経営諮問会議

議 事 次 第

日 時:平成16年5月17日(月)15時～16時

場 所:経団連会館 富士の間(8階)

1. 開会
2. 出席者紹介
3. 奥田座長ご挨拶
4. 議事
 - (1)15年度経営概況について
 - (2)16年度事業見通しについて
 - (3)その他
5. 質疑及び応答
6. 閉会

(出席委員等名簿)

座 長	奥 田 碩	(日本経済団体連合会会長)
座長代理	伊 藤 善 市	(東京女子大学名誉教授)
委 員	末 永 洋 一	(青森大学教授)
	大道寺小三郎	(青森経済同友会代表幹事)
	風 岡 典 之	(国土交通事務次官)
	三 村 申 吾	(青森県知事)
	古 川 健 治	(六ヶ所村村長)
	小 村 武	(日本政策投資銀行総裁)

(日本経済団体連合会)
(新むつ小川原株式会社)

事務総長	和 田 龍 幸
代表取締役社長	永 松 恵 一
取締役東京本部長	熊 谷 建 一
取締役青森本部長	寺 山 良 三
常勤監査役	明 石 守 正

平成 16 年 5 月 17 日

第4回 経営諮問会議 報告

新むつ小川原株式会社
代表取締役社長 永松恵一

この度、第4回経営諮問会議が5月17日(月)午後3時から4時まで経団連会館8階富士の間で開催されました。その中では、平成15年度経営概況並びに16年度事業見通し等について当社から以下のとおり報告しました。

1. 平成15年度の分譲は約5.5haで494百万円の収入、賃貸収入等を加えた総売上高は667百万円となる見込みである。厳しい事業環境にもかかわらず、営業利益では前期を上回る約32百万円の黒字を確保する決算見通しとなった。
2. 16年度については用地分譲と賃貸収入等で約650百万円程度の売上を目標にしたい。
3. 前年度に引続き用地分譲に伴う株主還元を「減資」という形で実施する。

これに対して、経営諮問会議委員の方々から以下のとおり評価・助言を受けました。

1. ITER等の誘致を進めて行く上で、インフラの整備が不可欠であり、関係者の協力が必要である。
2. 企業誘致に必要なものは何かを考え、付加価値の高い誘致を進めて行くべきである。今後の経営について、幅広い、グローバルな視点からの検討が必要である。
3. 新むつ小川原開発基本計画について、環境、エネルギー及び科学技術の分野において世界に貢献する地域の形成を進めたいとの考え方で計画策定に取り組んでおり、関係者のご協力をお願いしたい。
4. クリスタルバレイ構想、環境・エネルギー産業創造特区等を具体化させ、当地域を魅力あるものにするのが重要。地域の発展と新会社の経営支援に係る努力を引き続きしていきたい。

5. むつ小川原開発の発展なくして地域の発展は望めないとの認識のもと、地域としても新しい社会に対応できるビジョン作りを進めていく方針にあり、関係機関のご支援をお願いしたい。
6. 厳しい経済情勢の中で、昨年を上回る分譲を確保し、有償減資が増額されることは歓迎するものの。有償減資は新会社の基本スキームであり、信頼性を高めるためにも今後も継続してほしい。また、クリスタルバレイ構想、むつ小川原ボーダレスエネルギーフロンティア構想等の実現を図って欲しい。
7. 新しい街づくりを進めるに当たっては、電線地中化等により美しく、魅力ある街づくり計画として欲しい。特に、ITERの誘致に当たっては、国際的評価を得られるように努力する必要がある。

以上